

#### (10) 会計学教育における授業モデルの検討

会計学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年6月、8月、11月、2月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

会計学の学びを卒業後に社会で発揮できるようにするため、単位の習得を目的とする従来型の授業から、学生がグループで協働する学びの中で、主体的に学ぶ意欲を喚起する授業デザインを2例とりあげることにした。

一つは、社会で会計情報を利用できる能力を身に付けさせるために、グループ学習の中で就業力を意識した演習プログラムを取り入れるとともに、産学連携などにより実務との接点を見出し、会計マインドや会計を通じた人間力の育成を含めた総合力を目指す授業モデルとした。

二つは、会計情報の有用性を理解し、問題解決に応用できる能力を身に付けるため、Web上に公開されている会計情報(EDINET)から情報を入手し、財務諸表の分析、財政状態、経営成績、資金運用上の問題を発見できるようにするため、グループ学習での成果を教員有志のコンソーシアムにおいて発表・講評させるとともに、優れた学習成果について社会に発信し、意見・評価を得て、振り返りの学びをすることで、社会でも通用する会計能力を身に付けさせる授業モデルとした。